

阪神高速道路のインターネットによる経路検索サービスの利用分析

阪神高速道路(株) 正会員 ○岩里 泰幸

阪神高速技術(株) 正会員 山本 昌孝

1. はじめに

現在、高速道路会社各社では、利用者の自主的な行動変更を促すことで渋滞の抑制を図ることを目的として、入路や本線上での渋滞情報や所要時間情報を提供している。また、IT 技術の普及にあわせて、Web サイトを介した各種の道路交通情報提供を積極的に行っている。当社においても経路検索サイト「阪高ナビ」や、リアルタイム交通情報を提供する携帯電話用サイトの「阪神高速走れ Go」を開設し、お客様サービスや、利用の分散による道路施設の有効活用を目的として情報提供を行っている。

本稿では、当社が開設している「阪高ナビ」について、アクセスログ等を用いた利用分析を行い、利用者が「どのような使い方」をしているのかを明らかにしたい。このような現行サービスに対する利用実態を把握することは、今後、利用者ニーズに応じた新たな情報提供を検討する上でも重要であろう。

2. 阪高ナビとは

阪高ナビは平成19年8月から運用をはじめた当社の経路検索サイトであり、経路のみならず利用料金や平均所要時間、CO₂削減量などの各種情報や出入口の走行映像などの多彩なコンテンツを搭載している。本稿では、特に断りがない限り、利用者とは阪高ナビの利用者を指し、アクセス数の集計期間は2009年4月から2010年1月である。

まず阪高ナビのページ構成を示し、利用者の利用行動を定義する。まずトップページ(図-1 上段)にアクセス(以下、この回数を、アクセス数)し、ページ内の「スタート」ボタンをクリックすることにより検索ページ(図-1 中段)に移行(以下、この回数を、検索ページ移行数)する。そこで任意の出入口や諸条件を入力(以下、この回数を、検索数)することにより、検索結果ページ(図-1 下段)に検索結果が表示される。



図-1 阪高ナビのページ構成

3. 利用実態分析

(1) アクセス数と検索数

アクセス数と、検索ページ移行数、検索数を集計した結果、平成21年6月のアクセス数13.9万回のうち42%が検索ページに移行し、平均1.4回の検索を行っていた。一方で、アクセス数の58%が、検索ページに移行することなく、つまり検索を行うことなく退出していることがわかった。

(2) 時間帯別曜日別アクセス数

利用者が阪高ナビを利用するタイミングを把握するため、アクセスされた曜日や時間帯に着目した。曜日別の時間帯別アクセス数を図-2に示す。アクセス数は朝・夕・夜と3つのピークが見られた。また土曜・日曜の前日である金曜・土曜のそれぞれ夜間に検索数が特に増えていることから、土曜や日曜に阪神高速道路を利用するお客様(以下、サンデードライバー)が、その前日に阪高ナビを利用するという行動が推察される。土曜や日曜の午前中もアクセス数が多い。これらは阪神高速道路を利用する直前に、阪高ナビを利用しているとも考えられる。

キーワード : WEB, 経路検索, 情報提供, 利用分析, アクセスログ

連絡先: 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 4-1-3 阪神高速道路(株) TEL:06-4963-5449

(3) アクセスのリンク元

利用者がどのように阪高ナビにアクセスしてきたのかを把握するため、アクセスのリンク元に着目した。全アクセスの 46.5%が事前登録によるブックマークからのアクセスであり、残り 53.5%が他のホームページのリンクからのアクセスであった。

外部からのリンク元別のアクセス数を表-1 に示す。NEXCO ホームページからのアクセスが最も多く、NEXCO 西日本と東日本を合わせて 62.4%を占めた。このような結果から、利用者の多くは NEXCO 路線と阪神高速道路路線を連続利用する経路の検索をするために阪高ナビを利用していることが推察される。

(4) 検索出入口

利用者が検索している経路を把握するため、阪高ナビで検索された出入口に着目した。出入口別の検索数を表-2 に示す。月見山（第二神明）やりんくう JCT, 松原 JCT などの NEXCO 接続部付近の出入口が上位を占めている。このように NEXCO 接続部に関連する出入口の検索が多いという傾向は、前節の NEXCO ホームページからのアクセスが多いという分析結果からも納得できる。

(5) 検索距離帯分布

検索経路と、実際の阪神高速道路利用実績である第 22 回阪神高速道路起終点調査（以下、H16OD）交通量の距離帯分布を図-3 に示す。H16OD 交通量の平均距離が 17.4km であるのに対し、検索経路の平均距離は 36.7km と長距離であった。

4. おわりに

- 本稿で得られた知見をまとめる。
- ・曜日別時間帯別アクセスの分析によると、特に土曜・金曜の夜にアクセスが多いことがわかった
 - ・アクセスのリンク元や検索出入口の分析から、利用者の多くは、NEXCO 路線と阪神高速道路路線を連続利用する経路の検索をするために阪高ナビを利用していることが考えられる。
 - ・検索距離帯分布の分析から、検索する経路の平均距離は、H16OD の平均利用距離よりも長いことがわかった。

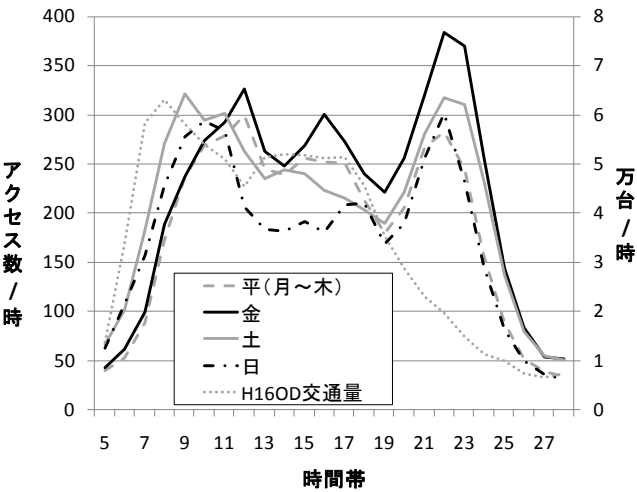


図-2 曜日別の時間帯別アクセス数

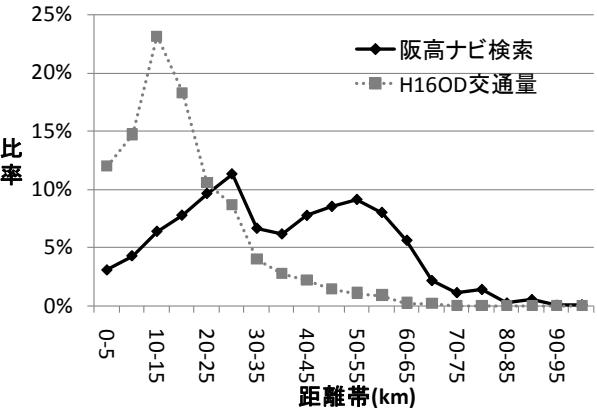


図-3 経路検索と H16OD 交通量の距離帯分布

表-1 リンク元別のアクセス数

順位	サイト名	キーワード	比率
1	NEXCO西日本 料金・経路検索	*w-nexco*	35.4%
2	NEXCO東 ドラプラ	*driveplaza*	27.0%
3	阪神高速ドライバーズサイト	*hanshin-exp.co*	15.7%
4	ETC総合情報ポータルサイト	*go-etc*	5.5%
5	高速道路機構	*jehdra.go*	2.0%
6	YAHOO!検索	*search.yahoo*	1.5%
7	google検索	*google*	1.4%
8	YAHOO!ニュース 「高速道路料金無料化」	*dailynews.yahoo*	0.5%
9	宮崎カーフェリー	*miyazakicarferry*	0.2%
10	YAHOO!知恵袋	*chiebukuro.yahoo.co.jp*	0.1%

表-2 出入口別の検索数

順位	検索出入口名	検索数	検索数比率
1	月見山(第二神明)	136,140	7.5%
2	りんくうJCT	78,316	4.3%
3	月見山	72,096	4.0%
4	泉佐野南	65,638	3.6%
5	松原JCT	63,505	3.5%
6	伊川谷	61,854	3.4%
7	池田	46,140	2.5%
8	守口(R1)	45,521	2.5%
9	豊中南・豊中IC	39,128	2.2%
10	助松	38,551	2.1%